

第 7 回 津山市教育振興基本計画検討委員会 会議録

○日 時 平成 24 年 1 月 6 日（金）13：00～15：15

○場 所 津山市役所東庁舎 E101 会議室

○出席者

・津山市教育振興基本計画検討委員 8 名

委員長 松岡信義（美作大学短期大学部教授）

委 員 遠藤知子（ジェンダーフリー美作代表）、岡田正（津山工業高等専門学校教授（副校長））小坂田昌平（津山市体育協会会長）、可児通宏（くらしき作陽大学非常勤講師及び津山市文化財保護委員）、國藤義隆（自営業役員）、櫛本真弓（一般公募）、八木芙佐子（津山市文化連盟会長）

欠 席 林宏和（津山市 P T A 連合会会長）、福田邦夫（津山朝日新聞社代表取締役社長）

・検討委員会オブザーバー 3 名

・事務局 教育長、教育委員会関係部課長、企画調整官、関係各課長等 13 名

1. 開会

2. 委員長あいさつ

3. 議事

① 全体を通してのご意見

（事務局説明）

- ・ 先回の検討委員会でご指摘をいただいた点について、また文章表現について読みやすくするために、全体的に修正した。
- ・ 第 1 章に「5 情報化の進展」を加えた。
- ・ 第 2 章「教育基本目標」「(1)個の確立とつなぐ力を育む」の一項目を二分化した。

（委員から）

- ・ 道德教育の充実について、地域での体験活動を通じた取組を加えてはどうか。
- ・ 情報化の進展について、情報通信ネットワークが普及した結果、距離と時間の制約を超えて情報をやり取りできる社会になってきており、情報化が進んでいると捉えるべきである。
- ・ 情報倫理教育の必要性は子どもたちのみではなく社会全体に及ぶ。
- ・ 第 3 章施策の方向性を主な取組の各項目に対応する等整理が必要な箇所がある。
- ・ 教育基本目標に、文化や伝統の継承を言及するにあたり、文化財の保護についても明

示してはどうか。

- ・ 記載する用語について、ある程度の統一が必要である。
- ・ 学校体育と社会体育が融合し、一体となって子どもの成長と発展を指導していくことを考えてはどうか。
- ・ 方針や計画について具体化させるための事業案作成の際に、市民を含む関係者から意見を聞くシステムは作れないか。

② 提案書の提出について

平成 24 年 1 月 16 日（月）を予定

③ その他

- ・ 今後のスケジュール

（事務局説明）

本日のご意見を受けて修正し、委員長に確認をいただいた後、1 月 16 日を予定として、市教育委員会へ本計画の提案書の提出をいただく。それを受けて臨時教育委員会を開催し、審議、承認を受けた後に、パブリックコメントの募集を約 1 ヶ月の期間をもって実施し、いただいたご意見等を参考に最終案を作成する。臨時教育委員会を開催し、審議、承認を受けて、本計画案の策定となる。また、市議会 3 月定例会の総務文教委員会へ報告する。

4. その他

検討委員、オブザーバー、事務局から感想

5. 閉会